

里山里海未来財団 設立記念助成プログラム 【採択団体一覧】

【1】

事業名	能登から始める自然と子どもを学ぶ会2025
団体名	能登から始める自然と子どもを学ぶ研究会（任意団体）
HP等	https://www.facebook.com/notokara/ https://sites.google.com/view/notokara/top
活動地域	珠洲市、輪島市、能登町、穴水町
助成額	300,000円
審査員評	能登の里山をフィールドとした本プロジェクトの活動は、各市町の主要な団体との連携体制を整えるなど、様々な工夫をすることで大きな運営費がなくても活動を継続していける内容となっています。地域の方に継続的に求められる事業となり、継続して心のケア含め対応していただくことが能登地方の復興の一助となると感じます。 また、活動後に振り返りによるリスク管理にしっかり取り組んでいる点が良いと感じました。助成事業を通じてスタッフが講師からノウハウをいかに学んでおけるとより良いものとなるでしょう。

【2】

事業名	よりあい処と自然あそびでつむぐ「里山里海と共に育ちあう能登の子どもたち」
団体名	認定NPO法人CFFジャパン
HP等	https://cffjapan.org/
活動地域	七尾市中島町 等
助成額	300,000円
審査員評	季節ごとに自然と触れ合う活動のバリエーション、第3の居場所を子どもたちも手掛けて改修する点、多少の運営費で活動を継続して行けそうな無理のない活動内容などから高評価となりました。 また、計画書の整合性がとても高く、課題抽出においても細分化され具体化されています。その理由の1つには「地域に根付いたスタッフの存在」が主軸にあることと考えられます。より地域課題を正確に読み取り、地域の団体と連携をしながら、深く地域に関わっていくことが期待できるプロジェクトです。

【3】

事業名	森のあそび場づくり
団体名	特定非営利活動法人Chance For All
HP等	https://chance-for-all.org/
活動地域	輪島市
助成額	298,480円
審査員評	能登の里山里海の自然の中で「森の遊ぶ場をつくる」という分かりやすい内容ですが、輪島市三井町を拠点として、既存地域団体(のと復興ラボ等)とそれぞれの強みを共有して協働できているため、独自性のあるプロジェクト内容となっています。また、前提となる課題抽出において、一方的な外部からの視点とならずに地域のニーズを上手く拾うことができています。 こどもの「やってみたい!」という気持ちを場づくりに反映させ続け(子ども主体で活動を考えている)ている柔軟性はとても重要で、子どもたちの可能性を期待するプログラムを提供していただけるノウハウが素晴らしいと感じました。